**第６章　結論**

　本研究では，一時的UX取得システムの入出力インタフェースに着目し，インタフェース比較を行った．また，製品のUX評価に有効だと考えられるインタフェースを用いて実際にWebサイトの評価を行った．

　インタフェース比較実験では，グラフがある場合にUXの入力が多くされる傾向にあり，UXカーブとの違いが出やすいことが明らかとなった．音声入力とテキスト入力の比較では，主に入力時間，入力数，文字数に違いが表れた．

　5章のWebサイト利用時の一時的UX取得では，一時的UX取得システムとUXカーブのエピソードに着目し比較することで，一時的UXが忘却される場合と，複数の一時的UXがエピソード的UXとして簡略化される場合があることが明らかとなった．また，カテゴリー別に入力されたUXを分析することでカテゴリーによってUXの入力数，UX値の度合いに違いが見られることがわかった．

　これらの結果より，